

# JOYAMA NEWS

University of Teacher Education Fukuoka  
Campus Magazine

vol.

# 58

2025 Summer

Joyama 通信  
福岡教育大学広報誌



国立大学法人

福岡教育大学



特集1

## 福岡教育大学の先生たち

特集2

## キャンパス紹介

# 大学広報ビデオをリニューアルしました

今回の広報ビデオは、1人の学生にスポットをあて大学4年間の経験と成長を語ってもらうことをコンセプトに作成。「印象に残った授業」、「教育実習での思い出」、「学生ボランティア活動の経験」、「福岡教育大学に進学した理由」等を収録しています！



かじ わら ゆう しん  
梶原 佑心さん

初等教育教員養成課程4年生(撮影時)  
現福岡教育大学教職大学院生



動画はこちら↑

## ▼収録内容の一部抜粋

### 01 どんな授業が印象に残っていますか？

梶原さん：大きく2つの授業が印象に残っています。まず一つ目は、「学級作りの理論と実践」という授業です。この授業は、「教育心理学の先生」と「教育学の先生」のリレー形式によって行われました。それぞれの専門領域から学ぶことで理論と実践の両側面から学級作りについて学ぶことができました。

二つ目は「持続可能な開発のための教育」という授業です。近年SDGsという言葉が広く注目されています。それは学校教育の領域においても同様です。この授業は福岡教育大学のSDGsクラブに入会するきっかけになりました。

### 02 福岡教育大学にはどんな教育実習がありますか？

梶原さん：福岡教育大学では1年次から4年次まで段階的に教育実習が設けられています。

教育実習は、実際の学校で子どもたちを前に授業を行うため、責任を伴います。時間をいただいている以上、一定水準の授業力が求められ、教材研究や授業準備に、多くの時間を費やしました。しかし、実習仲間とともに、励まし合いながら乗り越えた経験が、今後の教員生活にも活かされるのではないかと感じています。

### 03 ボランティアにはどのような取り組みがありますか？

梶原さん：福岡教育大学には、教育関連の多様なボランティアがあります。ボランティアサポートシステムを通じて、色々なボランティアに参加することができます。私自身は、地域の小学校や、不登校支援のNPO法人のボランティアに多く参加しました。

### 04 なぜ福岡教育大学を選びましたか？

梶原さん：私は中学生の頃から、小学校教員になることを志していました。九州で小学校教員を多く輩出している大学を調べた時に福岡教育大学という大学が最も適切なのではないかと考えました。進路選択の際に描いていた大学のイメージと実際の大学生活は一致していたように思います。とてもすてきな仲間たちと、教育について深く学び考えることができました。

### 05 大学時代にどんな学びがありましたか？

梶原さん：大学では、教育に関する専門知識を学ぶと共に教育実習を通じて、実践力を身に付けることができましたように思います。さらにボランティア活動やSDGsクラブでのサークルを通じて、地域の方々、多くの方々に関わり合うことができました。私は今後、福岡教育大学の教職大学院に進学予定です。これからも教育に、真摯に向き合いながら、自分自身成長していきたいと思っています。



58

CONTENTS

vol.

02 大学広報ビデオをリニューアルしました

03 特集1

福岡教育大学の先生たち

10 特集2

キャンパス紹介

14 福教大NEWS

16 サークル紹介

E.S.S.

女子バスケットボール部

17 第37回 福教大卒OB&OG紹介

福岡市立博多小学校

水木 彩香さん

18 TOPICS

本の道しるべ～私の心に残った一冊～  
i-na!メンバー募集中!

19 後援会・同窓会からのお知らせ

後援会

同窓会

福岡教育大学基金のご案内

アンケートに答えて

福教大オリジナルグッズをGET!



## 特集1 福岡教育大学の先生たち

福岡教育大学には、多種多様な分野を専門とする約160名の大学教員が在籍しています。その中から7名の教員に聞いた「大学教員の道に進むことになったきっかけ」や「こだわりの物・考え・モットー」などをお届けします。

### 特集1 | 教員紹介



## 学力格差を どう捉えるか

氏名 かわ ぐち とし あき  
川口 俊明

所属 学校教育研究ユニット 准教授  
出身地 高知県  
最終学歴 大阪大学大学院人間科学研究科博士後期課程 修了  
取得学位 博士(人間科学)  
本学着任 2009年

### ①専門の研究テーマについて

学校で日々行われている学力テストの成績は、本人の資質や努力だけでは決まらず、保護者の学歴や年収、あるいは自身の性別や出身地といった要素に左右されます。これを学力格差と呼びます。私は日本の学力格差の実態把握と、そのために必要な学力調査の在り方について研究してきました。

### ②大学教員の道に進むことになったきっかけについて

大学教員になろうと考えていたわけではないのですが、大学時代の恩師に勧められて大学院に進学してしまったことがきっかけです。

### ③研究成果の教育への還元について

学力格差や学力調査に関する研究は、基本的にマクロな教育政策に関わることで、学校・学級経営に直接役立つことはまずありません。ただ、学校の中のことしか知らない「視野の狭い」教師にはなっていないので、自身の専門を活かし、日本社会や学校教育制度の在り方について話すようにしています。

### ④こだわりの物・考え・モットーについて

できるだけ他の人と被らないことをやろうと思っています。学力格差・学力調査の研究をしているのも、日本の教育研究者は統計が苦手な人が多く、学力調査の在り方について研究している人も少なかったからです。また、教育大ではミクロな学校・学級経営や指導方法の授業が多いので、できるだけマクロな教育政策や教育の国際比較といった話をするようにしています。

### ⑤福岡教育大学で学ぶ学生に一言

教員になるという明確な目標があるのは良いことですが、早く現場で一人前になることに意識が向きすぎて、学校を取り巻く社会や教育政策に疎い点が気になります。現在の教員養成政策は「即戦力」を求めていますし、教育大のカリキュラムもその影響を強く受けていますが、無批判に大人たちの思惑に従うのではなく、突き放した視点で学校教育を眺めてみることも重要です。



# 語れない／語り得ない 人びとの記憶に思考を開く

氏名 こはぐら 古波藏 かおり 香

所属 学校教育研究ユニット 講師  
出身地 沖縄県  
最終学歴 大阪大学大学院人間科学研究科 博士課程単位取得満期退学  
取得学位 修士(教育学)  
本学着任 2022年

## ①専門の研究テーマについて

主に戦争の記憶継承について研究をしていますが、戦争に限らず、災厄の記憶継承について関心を持っています。戦争、地震、津波、公害病など、いわゆる災厄というものは、私たちが特別悪い行いをしていなくとも、そして、日々を懸命に、ささやかに、あるいは誠実に生きていたとしても、突然、被られる経験の一つです。私の研究テーマは、残念ながらこうした災厄が起こってしまった「その後」の世界で、人間が（たとえば、未だその経験を被っていないとしても）その記憶といかに向きあい、生きていくのかを考え続けるものです。

## ②大学教員の道に進むことになったきっかけについて

きっかけとなる出逢いはたくさんありましたが、現在の研究テーマに関心を持った最初のきっかけは祖母との出逢いです。戦争体験者だった祖母は自身が被った経験を言葉として語ることが最期までできませんでした。陽気でおしゃべりが好きだった祖母の語り得ない姿を前に、戦争の記憶を継承するとはどういうことかを考えさせられた経験が今につながっています。

## ③研究成果の教育への還元について

大学の現場で言うならば、授業の中で学生と対話しながら平和教育の在り方について共に考える機会を設けるようにしています。大学外の活動としては、福岡県の小学校の先生方と共に、児童生徒が思考し

続ける平和教育プログラムを作ることができないか模索しています。



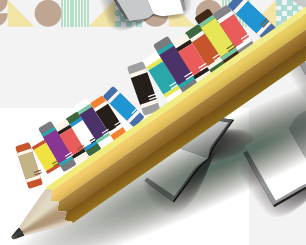
学生との対話

## ④こだわりの物・考え・モットーについて

先の祖母との出逢いの経験から、語れない／語り得ない記憶といった、表層になかなか立ち現れない人々の記憶の痕跡を探る思考、辿り続ける態度を大切にしています。

## ⑤福岡教育大学で学ぶ学生に一言

目の前に提示された情報を受け取る素直さや誠実さも大切です。とはいえ、その情報を無批判に、無自覚に受け取っていないかどうか、その情報によって生きづらさを抱えてしまう人がいるかもしれない、というように、一歩立ち止まって様々な事柄と向き合ってみてください。



# 役に立つか、 立たないかではなく

氏名 たにもと 谷本 じゅんいち 純一

所属 社会科教育研究ユニット 准教授  
出身地 京都府  
最終学歴 法政大学大学院 政治学研究科政治学専攻 博士後期課程修了  
取得学位 博士(政治学)  
本学着任 2012年

## ①専門の研究テーマについて

専門は西洋政治思想史で、イタリア政治思想史の研究で博士学位を取得しました。現在はイタリア政治思想、特に1920～30年代に活動したアントニオ・グラムシの思想を研究する傍ら、「政治」概念を古代ギリシアにおける捉え方と関連付け、経済的要素から独立した概念としての再構築に向けた研究を行っています。



研究ノート

## ②大学教員の道に進むことになったきっかけについて

小学校時代から、近現代史や公民分野が得意で、当初は法律家を目指していましたが、政治学分野の方に関心に移り、さらに大学3年次に政治理論のゼミに入ったことがきっかけとなり、政治理論・政治思想研究の道に進もうと決めました。

## ③研究成果の教育への還元について

政治思想や政治理論というものは、一見わかりにくいかもしれませんが、小中学校では、どうしても制度的な側面が中心になります。しかし、制度というものは、国ごとに異なります。例えば、なぜアメリカは二大政党で、ヨーロッパ諸国は多党制なのか、という問題。この答えは、政治理論から導き出すことができます。各国ごとの制度の違いと共通点、これは、長年にわたる研究の蓄積から一般化された理論を知っているか否かで、理解できるか否かが格段に違ってきます。多くの国の制度を個別に学ぶこと

もちろん重要ですが、制度の背景となる理論を学ぶことで、小中学校の教科書の内容の背後にある知識を身につけることができるよう工夫しています。



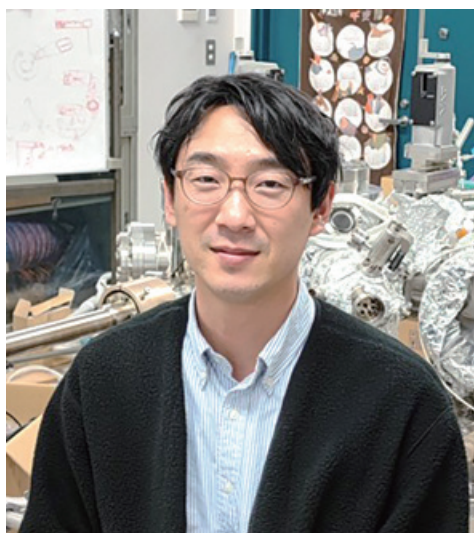
授業風景

## ④こだわりの物・考え・モットーについて

今すぐ役に立つか否か、で物事を考えないことです。現在存在する様々な便利な物の背後には、発明・開発はされたが実用化されなかった大量の物が存在します。学問においてもそれは当てはまります。膨大な学問的成果があるからこそ、その中から私たちの生活を便利にする技術が生まれてきたわけです。取り組んでいる研究と直接関係ないような書籍を読んでいて、別の角度からヒントを得、研究を拡大できたことは何度もあります。もし古代の哲学者が、目の前の要不要だけで思考していたならば、私たちの知識や生活はもっと貧困なものだったことでしょう。

## ⑤福岡教育大学で学ぶ学生に一言

モットーと関わりますが、自分の専門や教採などと直接関係あると思えないようなことにも興味をもち、大学生活でしかできない様々な経験をしてください。我々教員が皆さんに伝えることができるのは知識の一部にすぎません。大学生活というものをもっと広くとらえて、あらゆる経験が将来に生きると考えて大学生活を送ってほしいと思います。



# 「好奇心」や「感動」を Driving Forceに

氏名 おのだ じょう 小野田 穰

所属 理科教育研究ユニット 准教授  
 出身地 福岡県  
 最終学歴 九州大学大学院 総合理工学部物質理工学専攻 博士後期課程修了  
 取得学位 博士(理学)  
 本学着任 2022年

## ①専門の研究テーマについて

表面物理・ナノ物理が専門です。固体は「表面」と「内部（バルク）」に分けられます。一般的に固体の性質を研究する場合は、固体を構成する原子の数が膨大で、かつ、空間的に周期性の良いバルクを対象に行われます。一方、固体の最表面（原子数層程度）では結晶の周期性が破れており、バルクとは異なる格子構造や電子状態が現れます。私は走査プローブ顕微鏡(SPM)という研究手法を用いて、原子スケールで表面構造を観察し、その電子状態や化学状態、電気伝導などを調べています。最近では、SPMによって原子スケールの精度で古典・量子回路を作製することに興味をもち、研究を進めています。

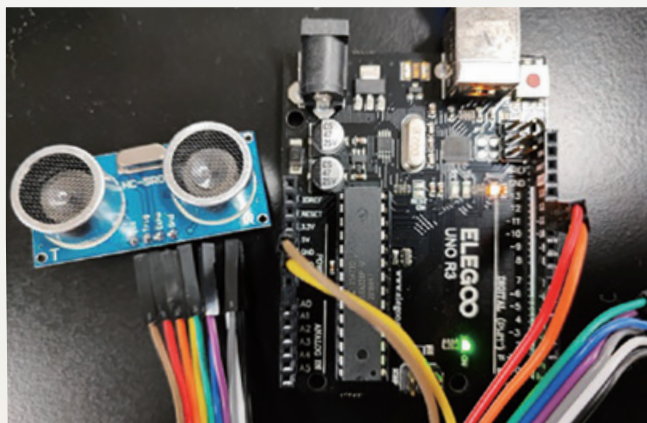
## ②大学教員の道に進むことになったきっかけについて

将来は物理学者になりたいと中学生の頃から思っていました。昔からテレビや映画でSFを観るのが好きでしたが、NHK特集で核実験を観たことがきっかけで「自然法則を知ることは大きな力に繋がる」と思い、物理に強い興味を持ちました（特にアインシュタインの相対性理論の解説本などを読み漁りました）。九州大学物理学科へ進みましたが、大学4年時に就職かアカデミアに進むか迷っていたので、どちらに行っても大丈夫そうな半導体表面の研究を選びました。日本やカナダの大学で有期研究者として働いた後、最終的には、腰を据えて研究がしたくなったこと、また、次代を担う学生への「教育」にも興味を持ち始めたため、大学教員として働くことに決めました。

## ③研究成果の教育への還元について

学生は教科書で原子や分子を「概念」として学びますが、“Seeing is believing (百聞は一見にしかず)”、それら

を実際に観察し「実物」と認識することは世の中の見方を変えます。科学や理科では、まず自然への「好奇心」や「感動」があり、次にそれを支えるための「論理的思考」があると思いますので、この流れを大事にした研究教育を心がけています。また、実験物理の知識を活かして、現在はICTを取り入れた物理学実験の教材開発にも力を入れています。



ICT物理教材開発に向けたマイコンボード (Arduino)

## ④こだわりの物・考え・モットーについて

モットーは「好きこそものの上手なれ」。研究は仕事というよりライフワークに近いです。メンタルなライフワークは「物理」ですが、フィジカルの方は「ダンス」です。大学時代に部活で競技ダンス（社交ダンスのスポーツ版）をしていたので、今も身体の健康を保つために（少し）続けています。

## ⑤福岡教育大学で学ぶ学生に一言

大学では様々な学問や友人との出会いや、学生時代にしかできない体験があると思うので、それらを目一杯楽しんでください。



# 高等教育での学びは 自身の教員人生を 支えるもの



氏名 かわ かみ けん た ろう  
川上 健太郎

所属 音楽教育研究ユニット 講師  
出身地 東京都  
最終学歴 東京学芸大学大学院 教育学研究科音楽教育専攻 修士課程修了  
取得学位 修士(教育学)  
本学着任 2023年

## ①専門の研究テーマについて

専門領域は、芸術実践論(ピアノ演奏学)と教育学です。芸術実践論における主たる研究は近代フランスのピアノ作品や歌曲伴奏の演奏法です。Faureの作品を中心として、DebussyやRavelの作品の演奏法の研究をしています。又、J.S.Bachを中心としたバロック音楽、MozartやBeethovenといった古典派の作品についても分析的な視点から研究をしています。

教育学では、高等教育の授業実践の研究をしており、高等教育機関におけるピアノ教育や「弾き歌い」の研究を行っています。又、教育者と研究者という自身の双方の立場を生かして、高等教育機関における「アウトリーチ活動」の実践的研究も行っています。



ピアノを演奏する川上講師

## ②大学教員の道に進むことになった きっかけについて

大学・大学院と合わせて6年間私を指導してくれた大学教授との出会いがきっかけの一つです。大学一年生の夏頃に「大学教員になりたい」という想いが芽生え、その先生をロールモデルとして意識するようになりました。ただ、大学院を修了した後、大学教員になるためには、具体的にどのようなフィールドで何に取り組めば良いのか分からず悩む日々が続きました。そのような試行錯誤をしていた中で、様々なご縁も重なり、非常勤助手として前大学で採用して頂き、大学教員としてのスタートラインに立つことができました。

大学教員になって8年目(2025年3月時点)ですが、ここまで続けることができたのは、自身が「変わりたい!」と思える刺激を

与えて下さった方との出会いがあったことです。「高等教育とは何か」について考える視点を下さった上司との出会いや授業設計や教授方法について教えて下さった先生、なかなか成果が出ず苦しんでいた際に、自身の音楽観やピアノズムを変えて下さったピアノの師匠たちなど、私に寄り添い、成長させて下さった方々とのかけがえのない出会いが私の活動の基盤を築いていると言えます。

## ③研究成果の教育への還元について

教育者と研究者という自身の双方の立場を生かし、授業実践を研究することで、研究成果を高等教育のよりよい授業づくりに還元することができると考えています。又、これまで取り組んできた「アウトリーチ活動」の研究を基盤として、高等教育機関と学校教育現場や地域社会との繋がりを捉えた実践的な研究に取り組むことが現在の研究課題です。

## ④こだわりの物・考え・モットーについて

私の仕事に対する考え方とも関連しますが、「挑戦」と「献身性」を大切にしています。失敗を繰り返しながらも困難な課題に果敢に立ち向かうことを通して人は少しずつ成長していきます。その際、ただやみくもに努力するのではなく、達成するための方法を思案し、正しい方向性で十分な努力がなされることによって、挑戦した成果が出てくると考えます。本来、仕事とは「自分以外の他者のために自身の特性や能力を活かして行うもの」であると考えますが、自分自身のためになされた仕事によって得られるものは、社会に還元されることは少ないでしょう。それぞれの専門性を生かした上で、誰かのために「献身性」をもって課題に挑戦することによって、より良い社会が形成されていくのではないのでしょうか。

## ⑤福岡教育大学で学ぶ学生に一言

大学での学びや他者との対話を通して「審美眼」を養ってほしいと思っています。審美眼とは、「物事の本質や価値を見極める能力」のことです。情報が氾濫する今日において、どの情報を信頼し、物事の本質や価値を判断していくかによって、学びの深まりは大きく異なると思います。



# 手書き文字の重要性を 理解した教育者に

氏名 <sup>わだ</sup>和田 <sup>けい そう</sup>圭壮

所属 美術教育研究ユニット 教授  
 出身地 広島県  
 最終学歴 福岡教育大学 大学院教育学研究科修士課程 美術教育専攻修了  
 取得学位 修士(教育学)  
 本学着任 1994年

## ①専門の研究テーマについて

書写書道教育を専門領域としており、小・中学校国語科書写及び、高等学校芸術科書道の教科指導方法について研究しています。中でも、書写教育では、「書写」と「習字」の違いから、本来求められる「書写」教育では、どのような力を身につけるべきであるかを明らかにしつつ、硬筆と毛筆の関連に着目しながら実践的に研究しています。書道教育では、鑑賞教育に重点をおいて研究しています。特に、芸術科の目標に掲げられている「感性を高め」「豊かな情操を養う」の文言に着目し、書道の授業において、感性や豊かな情操を養うことを意図的に計画し実施するには、どのような授業方法がよいのかという視点で研究を進めています。

## ②大学教員の道に進むことになったきっかけについて

私は、福岡教育大学の出身で、学部生の時は、高校の書道教員を目指していました。4年生の時、採用試験は不合格でしたが、本学大学院修士課程美術教育専攻が設置されることになり、運良く大学院一期生となることができました。大学院での学びに没頭する中で、次第に大学教員という職業も考えるようになりました。

## ③研究成果の教育への還元について

先述のように、私の研究領域は教科指導法ですので、その研究成果は、教師をめざす大学生への教育に還元できていると考えています。特に、求められる出前授業には、積極的に出向き、小・中・高等学校の子どもたちの実態をつかみながら、より実践的でかつ理想的な授業のための研究を目指しています。

## ④こだわりの物・考え・モットーについて

こだわりの物は、熊野筆です。私自身が、筆の町“熊野”（広島県安芸郡熊野町）の出身なので、購入する筆は、熊野筆と決めています。

我が子が小学生・中学生の時、PTA活動に微力ながら力を注いだ経験から、ボランティア活動の意義、重要性を自分なりに実感させてもらいました。人のために行動ができる人材の育成を心がけて、学生と接しています。

## ⑤福岡教育大学で学ぶ学生に一言

ICT機器が発達している現代において、未だ黒板にチョークで書く“板書”の能力は、教師にとって身につけるべき重要なスキルです。多くのデジタル黒板は、未だ教室の黒板サイズではありません。デジタル黒板が、教室の黒板サイズになり、かつ日本全国どの教室にも設置されたときが、チョークの終焉であると思っています。それはまだまだ先のことではないでしょうか。板書のチョーク技法を身につけましょう。



「板書指導」の授業



# デザインの魅力は、 アイデアや表現の力で 社会の課題を解決すること



氏名 <sup>うえ</sup>の <sup>まほ</sup> 上野 真歩

所属 美術教育研究ユニット 助教  
出身地 福岡県  
最終学歴 京都芸術大学大学院 芸術研究科芸術専攻 修士課程修了  
取得学位 修士(芸術学)  
本学着任 2022年

## ①専門の研究テーマについて

視覚伝達デザインおよびコミュニケーションデザインを軸とした制作研究をおこなっています。デザインの役割は、生活のなかにある問題を見つけ、その問題をどのように捉え、どのようなアイデアで解決するのかを表現することだと思います。近年は教育関連のデザインとして、幼児向けの算数教育絵本の制作や、学びにおけるつまづきをテーマとした展示会の企画などに取り組んでいます。

積し、どのようなアイデアで表現し社会とどうコミュニケーションをとるのかという根本的な考え方は、授業での実践を通して学生に伝えていけると考えています。

## ④こだわりの物・考え・モットーについて

私の表現では、自身で制作した羊毛フェルトの動物やぬいぐるみがしばしば登場します。学生時代から羊毛フェルトや布を使った表現をしていましたが、ある先生から、「これをいかに手芸でなくするかを考えなさい」と言われました。それが現在にも続くライフワークにもなっています。



幼児向けの算数絵本



羊毛フェルトで制作した動物たち

## ②大学教員の道に進むことになったきっかけについて

以前は、福岡市美術館で教育普及専門員として働いていました。美術館では美術の楽しさやおもしろさを伝えるワークショップや子ども向けの展示会の企画などをしていました。しかし学生時代はデザインを学んでいたこともあり、次はデザインの魅力、つまり社会の問題をアイデアや表現の力で解決するという格好よさや面白さを伝えられる人間になれたらと思い大学教員の道に進みました。

## ⑤福岡教育大学で学ぶ学生に一言

大学では、おもしろいことや楽しいことがたくさんあります。ただ、それを本当の意味で感じるには辛いときでも自身と向き合い、課題や問題に真摯に取り組み、他者との交流のなかで自分自身の感性や感覚を磨いていくことが重要だと思います。卒業して大学生生活を振り返ったときに、何かひとつでも「あのときは大変だったけど、自分は頑張ったなあ」と思えるような過ごし方をしてみてください。この経験はきっと、これから先のみなさんの心の支えになってくれるはずですよ。

## ③研究成果の教育への還元について

デザインの幅はグラフィックやプロダクト、ランドスケープなどとても広く、私1人ですべての技術を教えることは到底できません。しかしデザインの考え方や基本的なプロセス、つまり問題を見つけること、その問題をどのように自分の中に落とし込んで解

# キャンパス紹介

福教大生が通う  
キャンパス内の  
施設をご紹介します！

学生広報チームi-na!メンバーのイチオシスポット

## 学術情報センター図書館

学術情報センター図書館には、小・中・高等学校の教科書も蔵書されています。

1階には、絵本の読み聞かせや紙芝居を行うことができる子ども図書室や、自由に利用できるグループ学習スペースの「ラーニングcommons」があります。

また、2階には生活文化サークルLeafが手掛けた「SDGsコーナー」も。

図書館の建物の裏の通路を通ると共通講義棟へのちょっとしたショートカットに…?



ラーニングcommons

特別支援教育第二教棟・  
幼児教育教棟

特別支援教育第一教棟

音楽教棟

大講義棟

マルチグラウンド

学生センター

体育館

総合  
グラウンド

## ショップVIOLA

学生センター1階にあるショップVIOLAでは、本や文房具、お弁当のほか、焼きたてパンも販売されています。



## 食堂LUCE

学生会館の1階には食堂LUCEがあり、多くの学生がここで食事をとります。



JR 教育大前駅

西門

## 共通講義棟

日々の授業が行われる講義棟の一つです。  
昨年完成した「Edu Co×Lab」(共有スペース)には、3Dプリンターやレーザーカッターも設置されています。



## チャレンジ黒板

共通講義棟の1階には、学生達が板書のチャレンジ課題に取り組んだ黒板があります。



## キャンパス内の美術作品

福岡教育大学のキャンパス内では、随所に美術作品を見ることができます。美術専攻のある本学ならではの景色ではないでしょうか。キャンパス内を歩く際は、是非探してみてください!



## アカデミックホール

授業のほか、講演会、式典、各種セミナー等、多目的に使用されています。



# 2025年にリニューアルした施設

2024年8月から2025年3月まで行われた改修工事により、リニューアルされた施設をご紹介します。

## 健康科学センター

学生や教職員の健康管理を行う施設です。医師、看護師、カウンセラーといった専門スタッフが常駐しています。

センター前には、グループ活動「癒やしのひろば」によって、様々な花が植えられています。



## 🍀 リラックススペース

施設に入ってすぐのホールはリラックススペースとなっており、ソファやマッサージチェアが設置されています。本棚には、健康や心理に関する本のほか、小説や漫画も並んでおり、借りることも可能です。



## 🍀 リラクゼーションルーム

リラクゼーションルームは、一人で、または友達とゆっくり過ごすことができる部屋です。暖色系の照明により、落ち着いた空間となっています。  
※利用には申込が必要です。



## 🍀 診察室

診察室では、風邪や腹痛など、症状に合わせて医師による診察、薬の処方が行われるほか、怪我や捻挫などの応急処置を行います。





## 教育学研究科棟Ⅰ、教育学研究科棟Ⅱ

令和7年4月に新設された、大学院教育学研究科共同学校教育学専攻の関連施設です。  
所属する学生の院生室や教室、事務室があります。



教育学研究科棟Ⅰ



教育学研究科棟Ⅱ

## 大学院教育学研究科共同学校教育学専攻とは？

大学院教育学研究科共同学校教育学専攻は、北海道教育大学・大阪教育大学・本学の共同教育課程による後期3年だけの博士課程です。  
取得できる学位は「博士(教育学)」です。



特設サイト

## 特別支援教育第二教棟・幼児教育教棟

特別支援教育や幼児教育に関連する施設です。  
棟内には研究室等があります。



1

## 令和6年度福岡教育大学学生表彰式

令和7年2月19日(水)に、令和6年度福岡教育大学学生表彰式を行いました。

本表彰は、研究、課外及び社会活動等において、特に顕著な成果や功績を取めた本学学生及び学生団体を表彰するもので、令和6年度は8名、2団体の学生が表彰の対象となりました。

本学後援会会長及び役員が見守る中、飯田学長から表彰状と副賞が贈呈されました。飯田学長から「本日を迎える過程において、学生の皆さんのそれぞれの活動における精進は、並々ならぬものがあったことと思います」、門司後援会会長から「皆さんがこのような素晴らしい表彰を受賞するのは、今までの地道な努力と強い意志があったからこそだと思います。」とお祝いの言葉が贈られました。

これを受け、受賞者を代表して、弓道部 末吉 剣祥さんから「今後も福岡教育大学生であることを誇りとし、有意義な学生生活を過ごしていきたいと思っております。」との抱負が述べられました。



学生表彰受賞者と学長(中央右)、後援会会長(中央左)

2

## 「令和6年度福岡教育大学優秀教育実習生賞」表彰式

令和7年2月19日(水)に「令和6年度福岡教育大学優秀教育実習生賞」表彰式を挙行了しました。

この賞は、「教育実習生としての教育的愛情、使命感の自覚、授業や学級運営等における教育方法の創意工夫、そして同僚と協働しながら切磋琢磨してきた数々の努力と工夫に敬意を払い、その功績を称えること、及び本学の先輩として実習経験を後輩に継承すること」を目的として創設されました。令和6年度は9名の学生が受賞し、飯田学長から代表者に、表彰状及び後援会からの副賞が贈呈されました。

表彰式の後には、初めての試みとして、優秀教育実習生を受賞した学生による座談会を行いました。学生同士の交流を通して、教育実習で印象深かったことや授業作りなどを通して認識が変わったこと、子どもとの信頼関係を築くために意識したことなど、自身の教育実習を振り返るとともに、教員採用試験に向けての取り組みや卒業までの過ごし方などについて、それぞれの考えを語り合いました。同席した教員からは、学生の将来への激励の言葉が述べられ、座談会は盛

会のうちに終了しました。



優秀教育実習生受賞学生と正面前列左2番目から坂本附属学校部長、相部理事、飯田学長、石丸学部長、服部学長補佐

3

## 「学校の先生になろうプロジェクト」が日本学校改善学会2025福岡大会でワークショップを実施

令和7年3月8日(土)、福岡大学で開催された日本学校改善学会2025福岡大会で、本学の「学校の先生になろうプロジェクト(現:みらいの先生広場)」学生ボランティア実行委員6名が、ワークショップを担当しました。普段は学内で教員を志す学生同士をつなぎ、仲間を増やすイベントの企画・運営をしていますが、今回は他大学で教師を志す学生や福岡県内外の現職教員に参加いただき、交流イベントを行いました。

イベントに参加した学生からは「志望先や地元が違う方々とお話ができて楽しかったです。硬い雰囲気かなと心配していましたが、とても楽しくお話しさせていただいたので来てよかったと感じました。」といった声が聞かれました。

ワークショップの参加者と、運営した学生ボランティア実行委員にとっても大変有意義な時間となり、交流イベントを通して教職への志を高めたり、理解を深めることができました。



ワークショップの様子

## 4 令和6年度卒業式・修了式、令和7年度入学式を挙行

令和7年3月24日(月)に令和6年度卒業式・修了式を挙行しました。卒業式・修了式では、平成30年度以来6年ぶりに吹奏楽部による祝賀演奏が行われました。飯田学長から各課程・専攻の代表者へ卒業証書・学位記が授与され、659名の卒業生・修了生が、晴れやかな門出を迎えました。

また、令和7年4月7日(月)に令和7年度入学式を挙行しました。入学式では、6年ぶりに混声合唱団及び管弦楽団による祝賀演奏が行われました。満開の桜の中、教育学部638名、教育学研究科52名、特別支援教育特別専攻科5名の計695名の入学生が、福岡教育大学の学生として新たな一歩を踏み出しました。



学長による式辞(入学式)

## 5 令和7年度宗像地区教育実習合同オリエンテーションを開催

令和7年5月8日(木)に本学のアカデミックホールにおいて、「宗像地区教育実習合同オリエンテーション」を開催しました。本オリエンテーションは、宗像市・福津市教育委員会および本学の連携事業として実施しており、教職を目指す実習生に授業づくりの基本や教育実習における心得を指導することを通して、教育実習に対する意欲や見通しを持たせることを目的としています。宗像市、福津市の小中学校で教育実習に参加する実習生(本学の公立小実習生と協力校実習生、他大学実習生、社会人)に加え、近隣自治体で公立小実習に参加する本学実習生を含めた、計73名の教育実習生が参加しました。

「実習オリエンテーション」では、宗像地区における教育実習システム、実習生の心得やマナー等の基礎的な内容から、実習生の1日や全体スケジュール等の具体的な実習に関する内容まで、幅広く説明がありました。

オリエンテーション終了後は、実習生と実習校の先生方の対面式

が行われました。今年度教育実習に参加する実習生にとって、学校現場や教育実習に対する理解が深まる、非常に有意義な機会となりました。



全体会の様子

## 6 理科教育研究ユニットの水本講師を責任著者の一人とする 学術論文が科学誌「Nature」に掲載

理科教育研究ユニット 水本岬希講師を責任著者の一人とする学術論文が科学誌「Nature」に掲載されました。

2023年に打ち上げられたX線分光撮像衛星「XRISM」を用いて超巨大ブラックホールを観測し、同ブラックホールから流れ出る「風」と呼ばれる現象に関して新たな発見を得ました。

これに伴い、XRISMを打ち上げたJAXA(宇宙航空研究開発機構)より、令和7年5月15日(木)に記者会見が行われ、水本講師もリモートにて登壇いたしました。

研究成果に関して、水本講師より「衛星から降りてきたデータを最初に見たときは、データの処理がどこかで間違っていると思いました。そのくらいへんてこな、驚くべき観測結果だったのです。データ処理が間違っていないことが確認できてようやく、観測結果を直視して、興奮のあまり椅子から飛び上がったことを昨日のこのように思い出します。」とコメントをいただきました。



新聞社からの取材を受ける水本講師

# E.S.S.

中等教育教員養成課程英語専攻2年

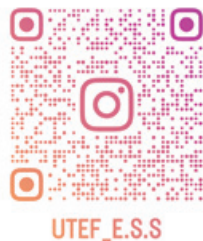
ただまさよし  
多田 正瀧

こんにちは、福岡教育大学E.S.S.(English Speaking Society)です。私たちは現在、2年生と3年生のメンバー6名で活動しています。活動内容は、ディスカッションやプレゼンテーション、英語を使ったゲームや映画鑑賞など多岐にわたり、英語力の向上はもちろん、「英語を通じた交流」を大切にしているサークルです。

活動は週に1回、学内の教室で行っており、和気あいあいとした雰囲気の中で楽しく活動しています。英語に自信がない人でも大歓迎！留学生との交流イベントや学外の英語イベントへの参加、さらに、英語の活動以外のイベントにも参加しています。学年や専攻を越えたつながりが生ま

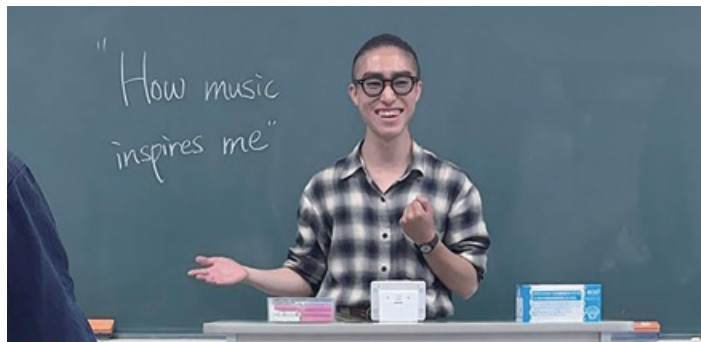
れるのもE.S.S.の魅力のひとつです。

英語を話せるようになりたい人、英語を使って人と関わりたい人、自分の世界を少し広げたい人、一緒に楽しく活動してみませんか？興味がある方はぜひ、E.S.S.の公式Instagram (@utef\_e.s.s)もチェックしてみてください。



UTEF\_E.S.S

英語が好きな人も、ちょっと苦手な人も、Welcomeです！



## サークル紹介

C I R C L E I N F O R M A T I O N



# 女子バスケットボール部

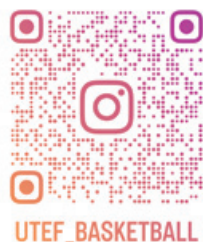
中等教育教員養成課程保健体育専攻4年

まつばやし さら さ  
松林 更紗

こんにちは、女子バスケットボール部です。現在は、プレイヤー14名、マネージャー1名の計15名で活動しており、本学OBの石橋千宜先生にご指導いただいております。部活だからといって、保健体育専攻の学生ばかりではなく、様々な課程、専攻から熱い心を持った学生が集まっており、「福教らしく応援されるチーム」をテーマに、切磋琢磨しながら日々明るく賑やかに活動しています。「インカレ出場」という目標に向けて、全員がバスケットボールに真剣に向き合い、個々の技術、チーム力を向上させています。また、バスケットボール以外の面でも、将来教員になるにあたって人間として成長できるよう、様々な役割分担で部活を運営しています。さらに、小中学生を対象にしたバスケ教室や、大学内外の清掃活動などにも

取り組んでいます。

昨年は九州2部2位(8位)という悔しい結果に終わりましたが、今年は九州1部昇格、そしてインカレに出場できるよう、全員で頑張りたいと思います。日々の練習の様子や大会のご案内、部員の紹介などはInstagramでご覧いただけます。少しでも興味のある方、応援したいという方は、ぜひ@utef\_basketballのフォローをお願いします。



UTEF\_BASKETBALL





## 大学で学んだこと

私は大学時代、特別支援教育を専攻していました。特別支援学校で教育実習をさせていただく中で、子どもたち一人一人にあった教育をすることの大切さを学びました。現在は小学校に勤務していますが、大学で学んだ特別支援教育の考え方が日々活かされていると感じます。子どもたち一人一人の実態を把握し、どんな声かけをしたらいいのか、どんな教材を用意すればよいかを考えることは、どの校種でも大切だからです。大学時代の学びが今の自分につながっています。



黒板アート

## 日々成長できるように

教師は子どもたちに寄り添いながら、その成長を身近に感じることができる素晴らしい職業です。授業や行事を通して、子どもたちと共に感動や喜びを分かち合うことができます。毎日子どもたちと接していく中で一番うれしいのが、子どもたちの「できた!」「分かった!」という言葉です。どの教科でも「できた!」「分かった!」という喜びを感じられる授業をしたいなと思っています。そのために、大切にしているのが教材研究です。授業の進め方、発問の仕方、資料の提示の仕方などを工夫し、子どもたちが自ら学ぶ意欲が出るように心がけています。また、校内の研究授業や図画工作科研究委員会での研修などを通して、さまざまな先生の授業を見ることがとても勉強になります。子どもたちや他の先生方との関わりの中で自分自身も日々成長しています。

## 好きを強みに

私は中学・高校の時に吹奏楽をやっていました。大学時代には管弦楽団に入り、学校を訪問して演奏活動もしていました。その経験の中

で、「音楽って楽しい!」という気持ちをもっと子どもたちに伝えたいと思うようになりました。音楽の授業の際は、学生時代に培ってきた音楽の経験を活かしながら、子どもたちが楽しく生き生きと表現できるように工夫しています。管弦楽を取り上げる授業の時には、子どもたちの前で楽器を演奏することもあります。様々な音楽に触れることで、子どもたちの音楽の世界が広がってほしいです。また、私は絵を描くことも大好きで、小さいころからたくさん絵を描いてきました。その特技を活かせないかなと考えて始めたのが黒板アートです。実際に子どもたちが黒板を見て喜んでくれた時はとてもうれしいです。絵を見た時の感動やわくわくした気持ちが少しでも子どもたちの思い出の中に残るといいなと思います。

大学生のみなさん。学生時代にたくさんの方に挑戦し、自分の強みの一つでもいいから見つけてみてください。それが、教師になったときに活かされていくはずですよ。



音楽活動の様子



福岡市立博多小学校  
みずき あやか  
教諭 水木 彩香 さん

・特別支援教育教員養成課程  
(平成25年3月卒業)



# 本の道しるべ

## ～私の心に残った一冊～

人生や考え方、価値観に深い影響を与えてくれた一冊との出会いは、いつまでも心に残るものです。本企画では、紹介者から感銘を受けた本をご紹介します。読むたびに新たな気づきや感動を与えてくれる一冊が、皆さんの心にも何かしらの響きをもたらしてくれるかもしれません。

書籍名

## 科学のダイナミクスー理論転換の新しいモデルー

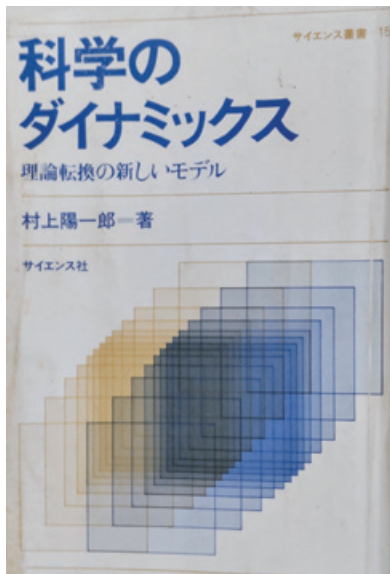
村上陽一郎 1980年 サイエンス社



紹介者

いいだ しんじ

学長 飯田 慎司



この書籍は、科学論の第一人者である村上陽一郎氏(当時:東京大学助教授)が1980年に出版した名著であり、実証主義(帰納主義)からの脱却としての規約主義を、ポパー・ラカトシュの反証主義と、ハンソン・クーンらの革命主義とに類型化してまとめたものです。ラカトシュは数学論においてもユークリッド主義からの脱却としての準経験主義を提唱した人物で、私は氏の功績をポリアに繋げて論じ、1991年に「数学教育における反証主義の認識論的考察」で西日本数学教育学会(現:全国数学教育学会)学会賞を受賞しました。また、ポパーの「推測と反駁」を取り入れて、当時の中学校数学科に導入された課題学習の教材研究を附属中学校の先生方と共同で行い三附中研で発表しました。ハンソンの「理論負荷性」やクーンの「科学革命」(パラダイムや科学者共同体)は、数学教育学界においてその後隆盛を極めた「構成主義」との関連が深く、私の研究活動の基盤になっていきました。

## i-na!メンバー募集中!!

i-na!は学生が主体で活動する学生広報チームです!

普段は福岡教育大学の広報誌の一部特集を作成したり、インスタグラムで大学のイベント告知や福教大生の生活、地域の飲食店などの紹介を行ったりしています。

ぜひチェックしてみてください!!

↓このような投稿をしています!



@UTEF.I\_NA\_

i-na! Instagram

# 後援会・同窓会からの お知らせ

後援会

## 保護者説明会開催のご報告

令和7年度保護者説明会が、長崎・大分・熊本・広島・福岡の5ヶ所で開催されました。第一部は、就職状況等の説明と質疑応答を行いました。第二部の情報交換会では、就職・実習・学生生活等、様々な情報を共有することができました。来年度もたくさんのご参加をお待ちしております。



福岡教育大学後援会 事務局  
TEL・FAX 0940-33-8070  
E-Mail kouenkai@eos.ocn.ne.jp

同窓会城山会

## 楽しく・温もりのある城山会に!

同窓会城山会は、4月29日(火)に福岡県内各支会、佐賀県、長崎県、熊本県、山口県の各県支部の代表総勢120名が参集し、第50回定期総会を八仙閣本店で開催しました。「城山会発足50年、同窓意識を相互に広げ・深め、さらなる前進」の言葉をもとに本年度の重点課題・事業計画を決定しました。また、懇親会では学長飯田慎司様はじめ11名の大学役員の方々を来賓としてお迎えして、交誼を深めました。今、多くの卒業生が全国で教員を中心にそれぞれの職域で活躍しています。私たち城山会は、卒業生、そして、在学生を温かい心で支え応援します。



福岡教育大学同窓会 城山会事務局  
TEL・FAX:0940-33-2211  
E-Mail:jouyamakai@able.ocn.ne.jp

## 福岡教育大学基金のご案内

福岡教育大学では、教育研究の更なる発展や充実を図ることを目的として、「福岡教育大学基金」を設けております。特に「修学支援事業基金」では、経済的理由により修学に困難がある学生が、希望する教育を受けられるように、皆様からいただいたご寄附を、学生のために特化して活用します。寄附をされる際に、「修学支援事業基金」と事業を特定してください。広く教育界、産業界、地域の皆様方に、本基金への格別のご理解とご支援を末永く賜りたく、お願いを申し上げます。

公式ホームページ

福岡教育大学基金

検索

インターネット(クレジットカード払い)による寄附金の受付を開始いたしました。

お問い合わせ先

福岡教育大学財務企画課

TEL:0940-35-1218 FAX:0940-35-1701 E-mail:kaihosa@fukuoka-edu.ac.jp

## アンケートに答えて福教大オリジナルグッズをGET!

今後のよりよい誌面作りのため、皆様からのご意見・ご感想をお寄せください。

アンケートにご協力いただいた方の中から抽選で5名様に『福岡教育大学オリジナルグッズ3点セット』をプレゼントします。

※当選者の発表はプレゼントの発送をもってかえさせていただきます。

こちらのフォームからご応募ください。



応募締切

令和7年9月30日(火)



抽選で5名様に

福岡教育大学オリジナル  
サインペン&ボールペン&メモ帳

<アンケートにおける個人情報の取扱について>  
ご提供いただいた個人情報は、プレゼントの発送以外には使用致しません。



恩師も、私も、福教大。

(2019年度 卒業生)

(2001年度 卒業生)

# Joyama 通信 vol.58

福岡教育大学広報誌第58号 2025年7月1日  
編集発行: 国立大学法人 福岡教育大学 経営政策課

〒811-4192 宗像市赤間文教町1-1  
TEL.0940-35-1205 FAX.0940-35-1259  
e-mail: kouhou@fukuoka-edu.ac.jp  
ホームページ: <https://www.fukuoka-edu.ac.jp/>



福岡教育大学  
イメージキャラクター  
フッキー



大学HP



X



YouTube



この印刷物は、印刷用の紙へ  
リサイクルできます。